

◇◇ <文字式 等式・不等式で表す> No. 1 ◇◇

・次の文の内容を、等式または不等式で表しなさい。

- (1) x に 6 を加えると y になる。
 ◇日本語の文↑と、文字式が表している内容、同じだよね！よく見比べてね → ($x + 6 = y$)
- (2) x に 6 を加えると y より大きくなる。
 ◇これ↑とこれ↓の違い！とても重要！！文字式をよく見て意味を考えてね。 ($x + 6 > y$)
- (3) x に 6 を加えると y より 3 大きくなる。
 ($x + 6 = y + 3$)
- (4) a から 3 を引くと、9 に b を加えたものになる。
 ($a - 3 = 9 + b$)
- (5) a から 3 を引くと、9 に b を加えたものより小さくなる。
 ($a - 3 < 9 + b$)
- (6) a から 3 を引くと、9 に b を加えたものより c 小さくなる。
 ($a - 3 = 9 + b - c$)
- (7) x を 3 倍して 5 を引いた数は y である。 ◇「 x を 3 倍」= $x \times 3 = 3x$ ね♪
 ($3x - 5 = y$)
- (8) x を 3 倍して 5 を引いた数は y 以上である。
 ($3x - 5 \geq y$)
- (9) x を 3 倍して 5 を引いた数は y より 4 大きい。
 ($3x - 5 = y + 4$)
- (10) a の 2 倍は、-12 の b 倍になる。
 ($2a = -12b$)
- (11) a の 2 倍は、-12 の b 倍以下になる。
 ($2a \leq -12b$)
- (12) a の 2 倍は、-12 の b 倍より 6 小さい。
 ($2a = -12b - 6$)
- (13) 1 冊 120 円のノート x 冊の代金は、1 個 y 円の消しゴム 5 個の代金と同じになった。
 ($120x = 5y$)
- (14) 1 冊 120 円のノート x 冊の代金は、1 個 y 円の消しゴム 5 個の代金より多かった。
 ($120x > 5y$)
- (15) 1 冊 120 円のノート x 冊の代金は、1 個 y 円の消しゴム 5 個の代金より 60 円多かった。
 ($120x = 5y + 60$)
- (16) 1 冊 120 円のノートを x 冊と 1 個 y 円の消しゴムを 5 個買くと、代金は 500 円より多くなる。
 ↑この(16)を文字式で正しく表せたら、だいぶ慣れてきた…と言えるかも(^o^)b ($120x + 5y > 500$)

◇◇ <文字式 等式・不等式で表す> No. 2 ◇◇

・次の文の内容を、等式または不等式で表しなさい。

(1) x から 5 を引くと -7 である。

◇日本語の文↑と、文字式が表している内容、同じだよな！よく見比べてね → ($x - 5 = -7$)

(2) a と 3 との和は -4 以下になる。

↑よく見比べてね！不等号がどっちに開くか、あわてずに考えよう(∧▽∧) → ($a + 3 \leq -4$)

(3) x の 4 倍は、 y の 3 倍を 24 から引いたものより小さい。

($4x < 24 - 3y$)

(4) a を 4 倍したものに 3 を加えると、 b を 5 倍したものより 7 小さい。

($4a + 3 = 5b - 7$)

(5) 兄は x 円、弟は y 円持っていて、2 人合わせて 1000 円以上持っている。

($x + y \geq 1000$)

(6) 兄は x 円、弟は y 円持っていて(兄のほうが多い)、その金額の差は 1000 円未満である。

($x - y < 1000$)

(7) 30cm のカステラから x cm 切って食べたら、 y cm 残った。

($30 - x = y$)

(8) 1冊 500 円の雑誌を x 冊買った時の代金の合計は、 y 円より 50 円多い。

↑ $500 \times x = 500x$ だね♪ ($500x = y + 50$)

(9) 1本 y 円のラケットを 10 本買った時の代金の合計は、 x 円より多い。

↑ $y \times 10 = 10y$ だよな(∧o∧) ($10y > x$)

(10) 全部で a ページある本のうち 250 ページを読み終え、残りが 70 ページ未満になった。

($a - 250 < 70$)

(11) a 円のケーキと b 円のケーキを買って、10 円の箱に入れてもらうと、合計 x 円以上になる。

($a + b + 10 \geq x$)

(12) A さんは m 歳、B さんは n 歳で、A さんのほうが B さんより 2 つ年上である。

($m = n + 2$ または $m - 2 = n$)

↑ (12)はちょっと難しかったかな？Aさんのほうが2つ年上ということは、Bさんの年齢に2つ足すか、Aさんの年齢から2つ引けば、2人の年齢が同じになる、つまり、イコールで結べる(等式になる)んだよな(∧o∧)b